



学校だより

東京都立府中けやきの森学園
〒183-0003 府中市朝日町 3-14-1
TEL 042-367-2511 FAX 042-369-8476
<https://www.fuchu-keyaki-sh.metro.tokyo.jp>
令和8年5月29日(金)発行 第3号

自分の好きなこと

副校長 平澤 登志子

休日、ウインドーショッピングをして日用品の買いだめをしてようやく電車に乗った時のこと。隣に座る親子の会話に思わず聞き入ってしまいました。20代の息子さんは障害がありお話は難しそうです。ざわざわとした車内、時間調整をしている電車に少し不安な気持ちが出てきていました。隣に座る母親らしき方は彼に向かって「〇〇駅で降りたら、1番、おうちに帰ってお部屋で過ごす。2番、コーヒーを飲んでからお家へ帰る。」と質問したのです。そして彼の指をとって自分の手のひらに数字を書かせていました。どちらになったのかは手のひらに書かれた数字を見ることができなかったのですが、私が素敵だなと思ったのは2番の「コーヒーを飲む」という選択肢です。親子で楽しめるコーヒーの味とほっとした空間を楽しむにできることに温かさを感じました。そして息子さんが確実に相手に伝えられる手段をもち、混み合う電車の中でもそっと伝えられることができることも素晴らしいと思いました。いくつになっても好きなもの、好きな空間を広げていくことが豊かな生活につながるのだなと思い、「これ！ウェルビーイング！」と心中でつぶやきました。

さて、1学期も折り返し地点となりました。児童・生徒は、新しい仲間、教職員との出会いの中で学習態勢も少しずつ整ってきました。日々の学習の積み重ねと、少しゆとりのある時間での「好きなこと探し」を進め、友達との時間を有意義に過ごしています。児童・生徒の皆さんには学校時代にたくさん「好き」を見つけてほしいと思います。好きすぎて支援者が困ることも多少あるかもしれませんが、上手に好きでいられるような工夫を見出すのが支援者の役割です。6月からの学習や行事に意欲をもって取り組み、夏季休業中には自分の「好き」を深められる時間を作れるとよいです。

最後に、6月はふれあい月間です。いじめアンケートを実施します。自分の不安な気持ちを伝えることも大事なことです。学校には大勢の教職員がいます。「いやだな」「不安だな」と感じたことがあれば、自分が安心して話をできる人、信頼できる人に教えてください。スクールカウンセラーも毎週木曜日に来ています。保護者の方も相談ができますのでどうぞお問い合わせください。

お問合せ

御連絡は、下記までお願いいたします。

◇平日（午前7時45分から午後6時まで） 042-367-2511（学校代表番号）

野菜くずの冒険～SDGsの取組～

指導教諭 安仁屋 政秀

本校では、昨年度よりSDGsの取組の一つとして、各御家庭から出る乾燥させた「野菜くず」を回収し、堆肥にする活動を行っています。御家庭で出た「野菜くず」を学校に持って来ていただくと、回転式コンポスト「作太郎」に入れ、ポイントと交換します。集めたポイントは、堆肥や種、野菜などと交換することができ、楽しみながら資源を大切に学ぶにつながっています。今年度も、引き続きこの取組を進めてまいります。

家庭から出た野菜くずが堆肥となり、土に栄養を与え、その土で育った野菜をまた食べる——このような「資源の循環」や「人や地域とのつながり」を、児童・生徒に身近に感じてほしいと考えています。

また、今年度は地域の方々の御協力もいただきながら取組を進めてまいります。先日、「住まケア・ライフサポート」様より回転式コンポスト1台を御寄贈いただき、現在は2台体制で堆肥化を進めています。さらに、社会福祉協議会の皆様、コンポストアドバイザーの方からも御支援をいただいています。堆肥づくりは、知的障害教育部門高等部の生産園芸班の生徒の協力のもと進められており、本取り組みの柱になる部分を支えてもらっています。

なお、本取組を親しみやすく伝えるキャラクターとして、

「ポテピー」「キャロピー」「オニピー」「作太郎」も誕生しました。

今後も、家庭・学校・地域がつながりながら、児童・生徒とともにSDGsの取組を進めてまいります。引き続き、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



けやきSDGsキャラクター
「野菜くずスターズ」

保護者摂食研修会

保健・給食・摂食推進部 主任教諭 板原 佐紀子

4月28日に、保護者対象の摂食研修会を開催しました。昨年度までは新転入生の保護者のみを対象に実施していましたが、今年度から全校の保護者の皆様に対象範囲を広げ、15名の保護者の参加がありました。今年度は知的障害教育部門の保護者の方の参加が多かったのが印象的でした。

講師の渥美聡医師は、「たくさん食べてほしいとか、なんでも食べてほしいとか、いろいろな願いがあると思いますが、何よりも本人が一番幸せになれることを考えていくことが大切です。それと同時に、お父さんやお母さんが頑張りすぎず、楽に対応する方法を考えることも大切です。」と前置きをされてから、講義を始めてくださいました。

講義は、摂食・嚥下機能について、食べ物の形態、食べ方（姿勢など）に加え、偏食や丸呑みを続けていくことで、大人になってから健康障害を起こす可能性があることなどまで、大変幅広い内容でした。また、経管栄養のみで栄養を摂っている方についてのお話もあり、口から食べる楽しさと、健康を維持することのバランスをとる大切さの話もしていただきました。

本校では両部門ともに、毎月外部専門員の摂食相談を行っています。教員への指導のための相談事業ですが、保護者の方から要望があれば、同席していただいて相談を受けることができます。

講義の中でもお話がありましたが、バランスの良い食事を食べられるようになるためには、学齢期からの対応が望ましいと言われています。学校では給食指導も学習指導同様に大切に考えていますので、困っていることがあれば、お気軽に相談してください。

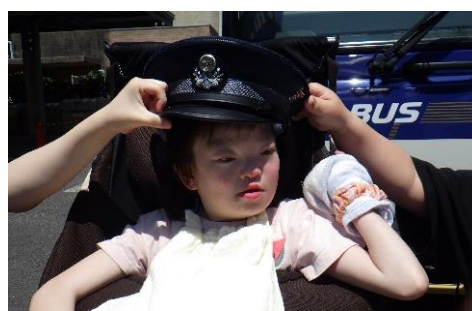
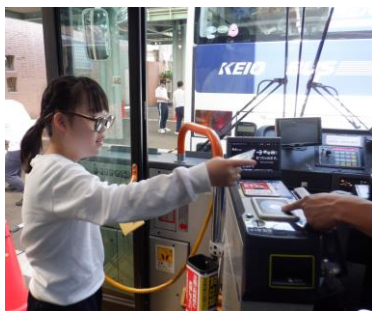
中学部の交通安全教室

生活指導部 教諭 水野 弘恵

両部門中学部では、京王バス株式会社様の御協力のもと、交通安全教室を実施しました。

実際にバス車両を使用しながら、乗降時の注意点や車内での安全な過ごし方、周囲の車や歩行者への注意について、分かりやすく御指導いただきました。生徒たちは職員さんや運転士さんの話を真剣に聞き、体験を通して交通ルールの大切さを学ぶことができました。

本校では、今後も実践的な学びを通じて、安全意識の向上を図ってまいります。



知的障害教育部門小学部児童の就業体験

知的障害教育部門小学部主任 主任教諭 鬼岩 真也

5月15日（金）、生活単元学習の時間に府中消防署朝日出張所にて就業体験を行いました。食堂や仮眠所などの施設見学から始まり、防火服の着装体験や消防車の乗車体験など、大変貴重な体験をさせていただきました。最後の放水訓練では消防士さんたちの本番さながらの真剣な姿に緊張感をもって、じっと見つめる子供たちの様子が印象的でした。今回の学習で、一生懸命に働くことの大切さを学ぶことができました。



I C T機器やデジタル端末を利用した授業

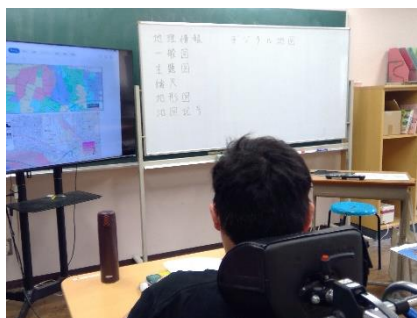
～肢体不自由教育部門高等部・準ずる教育課程の実践～

肢体不自由教育部門高等部 1 年 教諭 宮澤 天志

肢体不自由教育部門高等部では、各グループの学習場面や目的、必要な支援状況に応じて、ICT 機器やデジタル端末を活用した授業を行っています。今回は、準ずる教育課程で学ぶ A グループの実践について紹介します。

1 年生の地理では、教員が作成した地図やワークシートをモニターに映し、必要に応じて画面を拡大しながら授業を進めています。これにより、ページをめくることに時間がかかる生徒も、短時間で必要な情報を見つけやすくなり、学習への参加がよりスムーズになっています。

また、2・3 年生では既に持っているスマートスクール端末を活用し、デジタル教科書を用いた学習を進めており、それぞれの見やすさや操作のしやすさに応じた環境設定のもとで取り組んでいます。今後は 1 年生にも端末が導入される予定であり、学年を問わず、一人一人にとって見やすく、分かりやすく、楽しく学べる授業づくりを一層推進していきます。



～知的障害教育部門高等部 1 年生の取り組み～

知的障害教育部門高等部 1 学年主任 主任教諭 平 貴子

知的障害教育部門高等部 1 年生でも、様々な場面において、I C T機器を使用した授業を行っています。

音楽では、楽譜や手本を画像や動画で提示します。音楽編集ソフトで、曲の音域や速さを生徒が演奏しやすいように変えたり、楽譜を分かりやすく色楽譜やイラスト譜にして作成したりもします。編集した音源や映像を使用し、実際に見ながら音楽表現を行うことで、意欲的に学習に取り組んでいます。

また、美術の授業では、制作の手順や完成作品の例を事前にスライド等で提示することで、見通しをもって活動に取り組めるよう工夫しています。完成した生徒の作品は、写真に記録して、振り返りの学習にも活用しています。

これからも様々な授業で I C T教材を活用し、生徒たちの主体的な学びを実現していきます。

